

【授業科目】地域母子保健 Community Health for mothers and children

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
野内 香純、日比 千恵 高塚 麻由、鈴木 茉央		4 年次 前 期	選 択	1	30	演習	あり	巻末 掲載	可
授業概要 （内容と進 め方）及び 課題に対す るフィードバック 方法	授業概要／地域母子保健の概念をふまえ、地域母子保健行政と地域母子保健活動を学び、地域母子保健活動の現状と課題および助産専門職の役割を探究する。また、母子とその家族および女性の健康な生活のための地域のケアシステムやネットワーク構築について学び、母子保健医療チームの一員として協同や連携の在り方について考察する。授業は、演習とディスカッションを中心に進める。 課題に対するフィードバック方法／講義・演習において口頭でフィードバックを行う。提出された課題レポートにコメントをつける場合もある。 ＊実務経験をもつ教員が授業を進める。								
実務経験に 関する 授業内容	助産師の臨床経験をもつ教員が、地域での母子保健行政に関する知識や助産師の役割について学生自身が考え、学ぶことができるよう指導・助言していく科目である。								
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。								
到達目標 （履修者が 到達すべき 目標）	1．地域母子保健活動の展開方法を述べることができる 2．地域で生活する親子への支援方法を述べることができる 3．地域母子保健活動の実践をふまえ、助産師の役割を述べることができる 4．地域における関係機関との協同や連携のあり方について述べることができる								
時間外学習 に必要な 内容・時間	【事前学習】 第1回：母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ、助産学概論、公衆衛生看護学概論の復習（120分） 第2回：自分の住んでいる町の母子保健活動の実践について調べる（120分） 第3～8回：指定された課題についてまとめる（120分） 第9～11回：提示された事例の状態把握のために必要な知識を復習する（120分） 第12～14回：地域における母子保健行政と地域における活動について調べる（各120分） 【事後学習】 第1回：学習した内容を教科書等で深めノートに整理する（120分） 第2回：グループワークで学んだことをノートにまとめる（120分） 第3～8回：指定された課題についてまとめる（各120分） 第9～11回：提示された事例の助産過程を展開する、ロールプレイの準備を行う（120分） 第12～15回：最終レポートの作成（120分）								
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。								
授業計画	第1回 授業ガイダンス、地域母子保健の概念、地域母子保健活動の意義 第2回 私の町の母子保健活動の実践と課題（グループワーク） 第3～4回 地域母子保健活動の展開：女性のライフサイクル各期の課題と支援① 第5～6回 地域母子保健活動の展開：女性のライフサイクル各期の課題と支援② 第7～8回 地域母子保健活動の展開：女性のライフサイクル各期の課題と支援③ 第9～11回 地域母子保健活動の展開：女性のライフサイクル各期の課題と支援④ 第12回 地域子育て支援活動の実践：地域で支援する助産師の活動 第13回 母子のアセスメントと支援①：地域で生活する母子の見方とその支援 第14回 母子のアセスメントと支援②：地域で生活する母子の見方とその支援 第15回 母子保健の展望・まとめ							第1回：野内 第2回～11回：野内、日比、高塚、鈴木 第12,13回：野内 第14回：野内、日比、高塚、鈴木 第15回：野内	
評価方法 評価基準	定期試験 60%、課題・レポート 30%、ディスカッションの参加状況 10%								
教科書	1. 我部山キヨ子編集『助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健』医学書院（3年次前期「助産学概論」で使用したもの） 2. 我部山キヨ子編集『助産学講座4 基礎助産学4 母子の心理・社会学』医学書院				参考書等	1. 『標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論』医学書院			
学生への 助言等	この科目は、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ、助産学概論、公衆衛生看護学概論の理解の上で講義・演習を進めていきます。自分の学習課題を明確にし、時間外での自己学習に努めてください。講義や演習では、自分の考えをもって臨み、考えを他者に伝えられるよう主体的・自律的な参加を求めます。								